

3 交通のうつりかわり

沼尻鉄道 1913年（大正2年）に、沼尻日本硫黄鉱山でさいくつしたものを運ぶために、沼尻から川桁までの間に沼尻鉄道（磐梯急行電鉄）がしかれました。その後55年間、硫黄の運ばんばかりでなく、観光客や通きん通学の足としても活やくしました。



しかし、時代がかわり、沼尻鉱山が閉山され、1969年（昭和44年）に鉄道も廃止されました。

⊕ 当時の沼尻鉄道

磐越西線 わたしたちの町に鉄道が開通したのは、1899年（明治32年）です。そのころは、岩越鉄道とっていました。その後、国の鉄道となり、1917年（大正6年）に磐越西線と名前がかわりました。



⊕ 当時の猪苗代駅

磐越西線のうつりかわり

- 1899年 岩越鉄道株式会社によって、郡山～若松間が運転開始。
- 1906年 鉄道国有法が公布され、国有鉄道となる。
- 1914年 郡山～新津間が磐越西線となる。
- 1967年 郡山～喜多方間の電化完成にともない電車化。
- 1974年 蒸気機関車が廃止される。
- 1987年 国鉄がなくなり、JR東日本旅客鉄道株式会社ができる。

鉄道がしかれて、交通がべんりになると、人や物の行き来がさかんになりました。近ごろは、自動車がふえて、鉄道を利用する人の数は以前よりへっています。しかし、今でも観光や通きん通学など、わたしたちの暮らしにとって、鉄道は大切な乗り物になっています。